

⑥山中温泉宮の杜景観整備地区 景観形成基準

種 別		景 観 形 成 基 準		
建 築 物	高 さ	10m以下、軒高7m以下とする。		
	階 数	2階建てを基本とする。		
	屋 根	形 式	切妻、方形、入母屋等の勾配屋根（3.5/10以上）とする。	
		材 料	—	
		色 彩	赤茶色、黒、グレーとし周辺景観に支障がないものとする。	
	壁 面	材 料	石、タイル、板張りとし、鉄板葺き、波トタン等は避ける。	
		色 彩	茶、ベージュ等の落ち着いた色彩を基調とし無彩色及び低彩色で周辺景観に支障ないものとする。	
		窓・格子	—	
		軒 裏	—	
		物干し場	—	
庇・軒の統一		—		
門・塀	塀は建築物と調和したデザインとする。車庫・物置は主屋の建築物と調和の取れたデザインとする。			
工 作 物	設 備	高 さ	—	
		仕 上 げ	覆いの仕上げは建築物と調和させる。	
		目 隠 し	目隠し等で覆うものとする。	
		照 明	—	
		色 彩	建築物と調和した色とする。	
そ の 他	敷地の緑化		低・中木の常緑樹を植樹する。垣柵は生垣を基本とし1.5m以下とする。 道路境界から5.5m以内の敷地部分は舗装せず緑化により前庭整備に努める。	
	駐 車 場		周囲には植栽を心がける。塀や生垣で囲む。舗装は景観上好ましい仕上げとする（インターロッキング、タイル、石張り）。	

◆景観計画に基づかない基準

種 別		景 観 形 成 基 準		
建 築 物	そ の 他	配 置	前面道路からの後退	1階3m以上、2階4.5m以上空ける。車庫は1.5m以上あける。
			敷地境界からの後退	1、2階とも1m以上あける。5/10を越える勾配屋根が面する場合は2m以上あける。

◆景観計画に基づかない基準

種 別		景 観 形 成 基 準	
工 作 物	広 告 物	設 置	自己の敷地以外では設置できない。
		表示面積	1㎡程度とする。
		素 材	自然材料及び耐久性を考慮したものとする。
		形 式	—
		照 明	—
		色 彩	突出した色は避ける。
そ の 他	自 動 販 売 機	周辺景観との調和に考慮し、建築物等と一体的になるよう努める。屋外に設置する場合は、外装色を JIS Z8721 による 5Y 7.5/1.5 とする。	
	空 地	周囲には植栽を心がける。塀や生垣で囲む。砂利敷きなどを施して砂ホコリがたたないようにする。	

■山中温泉宮の杜 景観整備地区区域図■

